

令和3年度 農林水産業版タウンミーティング（農業版：青森地区）会議概要

日 時：令和3年8月2日（月）18：00～19：30

場 所：荒川市民センター 2階 会議室（A）

参加者数：10名

市側出席者：市長、農林水産部長、農林水産部次長、農業政策課長、あおもり産品支援課長、農業振興センター所長、農地林務課長、農業委員会事務局長

■昨年度いただいたご意見への対応状況

⇒ 配付資料のとおり

■主なご意見・ご要望等

○りんご園の防風網の張替助成については、生産者にとって貴重な補助制度であるため、今後も継続してほしい。

⇒ 防風網の張替支援については、りんご生産者の方から今後も事業を継続してほしいとの声が複数寄せられている。今年度からワイヤーや金具などの付属品についても補助対象品目に加え、継続して補助を実施しており、これまで5年間で43名の方々に活用いただいている。

今後も、生産者の皆さんの声を直接伺いながら、どういった支援が必要かということを検討し、引き続き対応していきたい。

○移住定住の促進に向け、空き家を斡旋し、定住に向けて補助を実施したり、6次産業化を進めるために商店街の空き店舗を紹介するなど、他部局と連携し取り組んでほしい。

⇒ 新規就農者に対しては、国が農業次世代人材投資事業（経営開始型）を実施しているほか、市独自の支援として、新規就農者定着化支援事業を実施しており、就農初期段階の農地賃借料や農業経営に必要な資材の導入などに要する経費を支援している。また、東青5市町村や青森農業協同組合と連携し、あおもり就農サポートセンターを設置して、栽培指導に係る巡回指導や国の支援制度の情報提供などの取組を実施している。

6次産業化の取組については、今年度から特産品開発支援事業を拡充し、ふるさと納税の返礼品制度を活用して、1次産品を活用した新たな特産品開発に取り組む製造業者等を支援することとしている。

新規就農者の確保にはこれまでも力を入れて取り組んでいるが、地方移住の関心が高まっている中、新しい働き方担い手誘致プロジェクトを立ち上げ、庁内一丸となり鋭意取り組んでいる。まずは農業政策課にお気軽にご相談いただきたい。

○マルシェの開催にあたって、コロナ禍においては開催側の対策も大変であるため、産直イベントに関連する支援制度について聞きたい。

⇒ 産直イベントに関する支援制度については、今年度、主催者に対する支援から出店者に対する支援に見直し、「あおもり産品出店支援補助金」を創設した。出店料の2分の1、上限2万5千円を出店者の方に支援するという内容になっており、現在、申請を受付している。当該制度を農林水産業者等が積極的に活用することにより、あおもりマルシェのコロナ対策に係る経費の負担減やイベントの魅力がより一層向上されることに繋がっていくと期待している。